

令和6年度 杜の都エコ・スクール活動報告書

学年	217	学校名	仙台市立高砂中学校	校長名	星 隆一
----	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル，テーマ

震災からの復興。そして，未来をみつめて



2 取組の紹介

本校は2011年の東日本大震災において，市内で唯一津波の被害を受けた中学校です。本校では，震災からの復興において，地域の方々はもちろん，日本全国の方々からの支援を受けてきました。地域の方々に支えていただいた分，感謝の意を表してきた取組が今でも伝統として残っており，活動を続けています。

紹介するのは，植栽活動（夏・冬に年2回実施）と，町内会と連携した活動です。

<植栽活動の様子>



夏・冬に年2回行われている花壇の植栽活動は，2011年から行われています。震災により被害を受けた校地の土を入れ替える際に，花壇に植える花を提供してくださった園芸関係の皆様との御縁で活動が続けることができおり，震災から14年が経とうとしている今でも，鮮やかな花壇を見ることができます。毎回，植栽当日は部活動の生徒，保護者など100名以上が参加して活動しています。植栽の際の肥料には，学校給食からでた生ごみからつくられたリサイクル肥料である「杜のめぐみ」を活用しています。

<町内会との連携>

毎年7月に，校区内に18ある町内会の会長の方々と生徒との顔合わせ会を実施しています。また，普段町内会ごとに行われている清掃活動や夏祭り運営ボランティア，防災訓練などの地域活動には，その町内に住む生徒と地域担当教師が積極的に参加しています。普段から顔の見える関係を築いておくことによって，いざという時の防災活動をスムーズに進めることができると考えております。

3 取組の成果

夏の植栽活動では花壇の土の状態を管理し，高砂中生有志で協力して校地整備に取り組みました。冬の植栽活動では翌年4月に入学してくる新入生のために花道を飾ることを目的として，次年度に花開く球根を植えます。そのため，生徒の「後輩のための活動」や「支援に対する感謝」の気持ちを養うことが期待できると考えています。

地域活動では，活動を通して，支えていただいている地域の方々に恩返しをしながら，地域に貢献する経験が，中学生の心身の成長につながっていると感じます。また，地域ぐるみで行われる防災活動は，生徒たちの防災意識を育み，将来にわたり，防災の知恵と工夫が伝えられていく礎になるものと考えております。